

「第5回阿見町道の駅整備事業検証委員会」議事概要

審議会等の名称	第5回阿見町道の駅整備事業検証委員会
開催日時	令和2年2月6日(木) 午後2時00分から午後4時00分
開催場所	阿見町役場 4階 第一委員会室
議 題	(1) 運営体制について (2) 整備時期について (3) 今後の進め方について
公開・非公開の別	非公開
議事結果	<p><b>【出席者】</b> (委員) 流通経済大学 名誉教授 香川 眞 茨城大学農学部 准教授 牧山 正男 橋本会計事務所 橋本 英之 (一社)茨城県建築士会 稲敷支部長 新田 孝司 (一財)茨城県建設技術公社 常務理事 藤田 幹雄 元(株)JTBC茨城南支店営業担当課長 宮寄 眞二</p> <p>(町) 湯原 町長公室長 政策秘書課 佐藤課長、糸賀係長、塚原主事、松本主事 (オブザーバー) (株)オリエンタルコンサルタンツ 浅野 清 段 里可子</p> <p><b>【会議の概要】</b> 1. 開会 2. 委員長あいさつ 3. 議題 (1) 運営体制について 【資料1】【資料2】【資料3】により事務局から説明があり、質疑応答が行われた。 主な内容は以下のとおり。 ●：委員 ○：事務局 (質疑) ●20億円回収するのに、年間500万円で40年間かかる計算となり、とてもビジネスの感覚ではない。公共施設だと明らかにして進めれば、阿見の全町民に対して20億円を上回るメリットがあり、福祉向上にも繋がるが、検証が十分に行われず道の駅ありきでやっている。手続き的には丁寧に進めていることが認められるが、結果として阿見の中心地からは外れており、今後阿見で人口の増加が予想される荒川本郷から見ると、正反対の場所への設置となっている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「道の駅整備推進会議」からの提言書には、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の3点を挙げている一方で、ビジネスとして進めるといふ言い方もしている。どちらに軸足をおいて説明しようとしているのか。</li> <li>○「道の駅整備推進会議」は、いつ出来てどのような性格をもつか。</li> <li>○平成24年に組織化され、「道の駅基本構想」をまとめていく会議である。</li> <li>●軸足がビジネスの方にシフトしていく経過があっても良いような気もするが、それは流れの中でどの辺りになるか。また、「道の駅運営検討委員会」の立上げはいつか。</li> <li>○委員会を整理すると、平成23年度に外部委員が進める「道の駅準備検討委員会」を開催し、基本構想のたたき台の議論をした。「道の駅整備推進会議」は平成24年7月に第1回を開き、視察を除いて4回開催し、最終回は平成25年2月である。そして、平成28年度に「道の駅運営検討委員会」を立ち上げている。</li> <li>○平成24年に基本構想の策定をまとめて、平成25年3月に提言書という形でまとめているので、実際は基本構想を二か年かけて作ってきたイメージである。</li> <li>●それを受けて基本計画が出てくるが、基本計画は役所が作成したものか。</li> <li>○そのとおり。</li> <li>●「道の駅運営検討委員会」の開始時には、ファーマーズ・フォレストの予定と決まっていたのか。</li> <li>●違う、ファーマーズ・フォレストを選定したのは平成29年1月である。</li> <li>○平成28年の秋頃から募集を始めて、平成29年の1月ごろ審査をした。「道の駅運営検討委員会」の途中でファーマーズ・フォレストに決まり、4回目の会議で直接意見交換を行った。</li> <li>●「道の駅運営検討委員会」とファーマーズ・フォレストが協力して、出品者の説明会や意見交換会を行っていたということか。</li> <li>○違う、出品者の説明会はファーマーズ・フォレストが主体となり、地元の意向を汲んで説明をしていくという趣旨である。</li> <li>●平成29年10月の「運営検討委員会」5回目に「道の駅うつのみやろまんちっく村」を視察していたのか。</li> <li>●そのとおり、視察の後、委員会は活動を停止した。</li> <li>○平成30年2月に町長選挙があり、凍結・再検討となった「道の駅運営検討委員会」と、ファーマーズ・フォレストとの関係は、平成29年10月の視察が最後である。</li> <li>●提言書の後、基本計画が出てくるが、この辺りで三セクなどの可能性をなくし、指定管理者制度に移っていくのか。</li> <li>○実質、基本計画の中で、指定管理者制度を明確に打ち出していった。</li> <li>●「道の駅運営検討委員会」では、それがありきであったのか。</li> <li>○ありきである。</li> <li>●その中で選定していくとなれば、当然ビジネスの方に主眼を置いているわけだから、経済的な力に評価の主眼が置かれていく。</li> <li>●自動的にファーマーズ・フォレストに結果が落ちてくるのか。</li> <li>○経済評価の点数が、100点満点中20点を占めている。それから、資料1の区分14番で、「応募者の財務状況」があり、過去の決算資料等を応募の添付資料として提出してもらい、点数をつけて反映している。全体配点をこの形にするというのは、「道の駅選定委員会」の中で決まった。実際100点満点中で能力評価・経済評価が、50点を占めている。民間的部分を重視するという意見が多かったと思う。</li> </ul>
--	---

●前年度に視察で訪れた千葉県の道の駅は、昔は華やかだったところが、今はかなりさびれてしまっており、当時の委員達が「こうはなっては困る」と割と強く印象を持った。それがあって、この2点が重視されたが、ファーマーズ・フォレストが圧倒的にリードしているのは、上の3つの項目である。経営関係に関しては、他にも同点のところや高いところはある。「農業者の連携」とか「阿見町に建てること」を大事にしてほしいということが、当時の「道の駅運営検討委員会」の中で、かなりの委員から出た意見であり、ファーマーズ・フォレストは「ろまんちっく村」の経営経験があることや、沖縄でも展開していることがプラスに評価されたと捉えている。「道の駅運営検討委員会」がビジネスのみで議論していないことは確かである。

ただ指定管理者でということが決まった状態であったし、基本計画が作られたことに関して掘り下げた方がいいと思うのは、前々から話題になっている立地の問題がここからである。場所や建物形状の問題は、基本計画の中でかなり議論されているので、基本計画の作成過程に関して、本当は検証した方が良くと思う。基本計画の中で、指定管理制度の話などが急に浮上しているように見えるが、指定管理制度というのは今の時代、一般的なもので制度自体を否定するつもりはない。お金が回らない限りは、抱えてくれる会社が逃げてしまうこともあるだろう。その過程は少し見えるようになった方が良く。

●冒頭の意見の趣旨は、こういう考え方は、経営を任せるにあたって「信頼できるかどうか」という視点から来ており、400年あっても取り返せないということになってしまっているのは、現実的な考え方ではないのではないかというご指摘ですよね。

●そのとおり。

●一方で、主体が選ばれるプロセスの中ではどうなのだろうか。

●ビジネス性を考えるなら、最低限でもアウトレットの隣接地であるべきだと思う。今の場所では、ビジネス性はほとんど考えていない。公共施設で割り切るなら、阿見町民にとって20億円を超える大きなメリットが必要であると思う。福祉の向上に繋がるなら良いが、美浦のすぐそばのあの場所は町はずれである。阿見町民にとっては福祉向上にならないと思う。要は道の駅ありきで突っ走ってしまい、基本を抑えられていない。

●道の駅は町の宣伝効果が恐らくものすごいと思う。テレビでもこれだけ報道されるし、5万分の1レベルの地図にでも載ってくる。そういうことを考えると、宣伝効果があるので、ビジネスだけで考えずに公共施設として考えるという考え方にどちらかと言うと与する側です。基本計画の中で、場所問題や指定管理者が決まっているが、そこに歪みが生じているのではないか。赤字にならないよう、建設規模、建設位置を考慮し、それによる利用者数や収益の見込みが十分にシミュレーションされたのかということに関して、どうしても場所の問題の議論が繰り返されてしまう。道の駅といっても、小さな規模でよければ場所の選択肢はもっとあったはずだが、ある程度の規模の建物、駐車場から始まってしまうと、実質は3つしか選択肢がなかった。そこに歪みが生じていると捉えられる。歪みはどこから生じたのかを確認することが、「道の駅整備事業検証委員会」の仕事ではないかと思う。

●阿見町の財政は悪くはないが、余裕はない。少なくとも町は現在の公共施設を将来的に維持できないということを明らかにしている。その中で20億円の公共施設を造るなら、住民の福祉向上に繋がるということをしちんと検証してからやるべきだと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●20億円がどのタイミングでどう決まったのか。20億円ありきだった可能性はあるのか。</li> <li>○20億円ありきではない。場所を選定するにあたっては、事業費は考慮しておらず、場所が決まってから、全体の財政フレームの中でいくらかけられるのかを逆算して出た数字である。</li> <li>○建物でも他の市町村の実例とか施設の実例とか、造成費についてもどのぐらいかかるかというのが大体概算で出せる。指定管理者の方が良いという一つの考え方の中で、建物の基本構想や、造成費のアウトラインを出し、町の財政フレームに照らし合わせて、一つの目安として20億円にするということを決めた。</li> <li>○平成27年に現況測量、基本設計をかけている。基本設計で概算費用を出して、20何億円という数字があがってきて、もう少し抑えられるように努力をしようという話である。</li> <li>●公共施設として、提言書にあったような3つのことを満たすのであれば、すごく小規模で場所についてもあまり面積がいらぬこともあるが、20億円までは出しても構わないと腹を決めたからには、それなりの規模のものや、経営主体も考えた上での20億円なのか。</li> <li>○そのとおり、一つの目安として20億円である。</li> <li>●20億円は町の単独負担か。</li> <li>○違う、国補助金の他、県管理の国道の休憩施設として県負担が1億円。起債が75%など、単年度の持ち出しがその残りの部分。起債は24年償還などがある。</li> <li>○建設に関しては、建設費までペイする考えは当初からない。基本構想や計画にある経営の視点とは、毎月（毎年）の売り上げの中で、維持管理費と人件費を補う。そのためには民間の指定管理者にお願いするのが1番ベストではないかという判断である。</li> <li>●つまり、20億円の中で町が負担する部分もある。それは初期投資分であってその時の考え方としては、公共施設として出しておきますと。そこから実際の運営が始まったときには、年度ごとに運営はペイするような形で進めたらいいという発想だったということか。</li> <li>○そのとおり。</li> <li>●トイレなど公共施設の維持管理に相当する分を指定管理維持費として支払うという認識でよかったか。</li> <li>○そのとおり。前回の「道の駅指定管理予定者募集要項」でも説明した通り、町では指定管理料として年間1,000万円支払うことを募集要項の要件とし、1,000万円のどこまで落とせるか、さらに利益の一部を納められるのであれば、納めるような提案してもらいたいというのが、こちらの募集の趣旨です。それに対して各事業者に提案をしていただいて審査し、選定をしていったという経緯である。</li> <li>●副産物として、お金にかからない部分の議論も必要で、阿見町の農業振興は大事である。例えば、農家の生産者団体を新しく作ることも検討して両輪で進めていかなければならない。そういう要望もあり、ファーマーズ・フォレストは説明会を企画したと思う。生産者団体ができれば、後継者問題の解消、横軸連携の強化、特産品の創出も期待できると議論している。町内にそのような団体はすでにあるのかという話もしたが、新しいものを立ち上げるところまでは至らなかった。休日だけでも予科練平和記念館の前で店頭販売をするなど、やり始めてから連携するとか、そこを育てていって、今後の町の核にしていくということを平成25、26年から取り組めていたら、随分違っただろうと反省している。</li> <li>●産業育成、農業育成、観光などの目的があるのはよく分かる。道の駅に反対ではなく、非常にいいと思うが、なぜあの場所を選ぶのか。採算が</li> </ul>
--	---

合っているほうが良いに決まっている。なぜその視点で考えないのか。宣伝効果もあるし、産業育成にも繋がるため、道の駅は推進すべきだと思う。しかし、もう少し頭を使わないとダメではないかと思う。

- 物を決めていく順番は色々あったと思うが、今回の事業については、場所などが先に決まった流れがある。
- 基本的な考え方として道の駅は、国道沿いまたは県道沿いで、ある程度の交通量が期待される場所をまず考慮する。場所が荒川本郷地区という話も先ほど委員からあったが、実は平成23年の「道の駅準備検討委員会」の中でも話には出た。土浦から荒川沖東を通り、ひたち野うしくを通る路線しかない。市街地ということで、用地買収が難しく、なかなか土地が見いだせなかった。整備に関してその路線は、難しいだろうと。それで国道125号バイパス、国道125号、竜ヶ崎阿見線のライン上が最も効果が高い場所なのではないかという判断で、ある程度の構想の中で評価をしたというのが実態である。
- 提言にもあった3つのことは、道の駅をやるときの基本的なもので、場所は説明していたところで見つけていくということになる。その作業で残ったのが、候補に挙がったところで、その中で検討して決まったという流れで説明すればよいか。
- どうしても西部地区は荒川沖木田余線の沿線しか、道の駅を通しての候補がない。国道125号バイパスでもすぐ土浦に入ってしまうので、荒川沖木田余線の沿線上では、ひたち野うしくに隣接するような所しか見いだせないため、選択肢が難しいだろうと。道の駅を作るというような発想は、道の駅というネームバリューを使って、地域の振興を図ってきたいというのが、考え方の根底にはある。
- 当時の計画の中は知らないので結果論だが、結果的に、竜ヶ崎との競合になるので、ひたち野うしく近辺、国道6号につくらなくてよかった。
- 道の駅を造るとするのは、前町長の政策公約である。
- あの頃同時並行的に「阿見町観光振興基本計画」を作っていた。道の駅をつくること自体に反対はなかった気がする。
- 茨城県の県南地域には全く道の駅もないし、一番に作ればそれだけ売り出せるのではないかという判断はあったと思う。
- あの場所では、結局その焦点の審判が出ているわけですから、新たに場所を検討するのが必要だと思う。
- 場所の件については、あみアウトレットに来る人は道の駅にはほとんど寄らないと思う。観光振興の中で、あみアウトレットで野菜を販売していたが、「朝市ではなく夕市でやらないと誰も買わない。買った野菜をもってアウトレットの中を回る人はいない。」という意見があった。この道の駅は、あみアウトレットと予科練平和記念館を繋ぐひとつの方法になったらいいなと思う。もっと良いところがあればいいが、場所はあそこでよかったのではないか。
- 場所の問題はまた出てくるが、全ての項目を洗い直した中で、もう一度全体をストーリーで結ばないといけないので、再検討はしたいと思う。今回は、積み残しの運営体制についてということであり、今の話の流れの中で、ファーマーズ・フォレストに落ちてきたのだなというところまでは分かった。手続きについては手順を踏んでいたことが確認できたので、運営体制については、この前の補足部分を補ったということで、一回締めさせていただく。

## (2) 整備時期について

【資料4】により事務局から説明があり、質疑応答が行われた。主な内容は以下のとおり。

(質疑)

- 整備時期はどこからどこまでのことか。
- 農業等の振興を図ったうえで、特産物を生み出してから取り組むべきではなかったのかというのが諮問書の補足だが、前町長は、道の駅を起爆剤にと考えていた。
- 平成 23 年から検討・準備が始まっているが、何故その間に少しでも動きがなかったのか。何かをやりつつ箱も作るという、二段構えにしたほうが良かった。
- 進め始めてからは説明会を行っているが、それもかなり遅かった。その準備が同時並行的にできていれば、農業関係者についても、もう少し身を入れて一緒にやるという話が出てきたかもしれない。説明会などの感想として、その辺はどうか。
- 最終的にファーマーズ・フォレストで説明会を行った際には 60 人、90 人という人数が来た。
- 今日の資料の中では、説明会にも町民が集まっているし、動く状況ではあったと受け取れるが、阿見の農業をやられている方々は、最後まで一緒にやるという考えがあったのか。ファーマーズ・フォレストの方では、例えば品揃えなどで阿見の特産品を考えていたのか。阿見の外、県内でも県外でも軸足があったのか。
- 阿見町産だけでなく、最低でもファーマーズ・フォレストには、県内の食材を取り扱ってもらえれば良いという考え方を持っていた。町内の農業者で参加したいという意欲がある人は、説明会にもきていただいていた。ある程度は入ってくれるだろうが、季節的な部分もあるので、阿見町産で全て賄えるというのはなかなか難しいだろうという認識があった。ファーマーズ・フォレストも地元農家とどのような連携をしていくか協議をしているわけではないので、その説明会で終わっている。
- 整備時期について、もう少し具体的な意見はあるか。今の議論で良いか。整備時期については少し反省的な点があるということですね。整備時期についても、一旦締めさせていただく。

(3) 今後の進め方について

【資料 5】により事務局から説明があり、質疑応答が行われた。  
主な内容は以下のとおり。

(質疑)

- 説明に付け加えると、町長はすでに議事概要を、興味深く読んでおり、非常に良い検討をしているという一方で、もう少し深く議論・検証を深めてほしいところもあるという話を伺った。先生方・委員の方々は、それぞれの立場の専門家としての視点で整理しているが、一般の方からすると疑問があり、その疑問の積み重ねが、今回の計画を一回止めたのだと思う。町長から改めて追加の諮問が出るかもしれず、それについては受けさせていただくと答えた。「道の駅整備事業検証委員会」について、じっくり検証してくれとのことで、結論が出るまで取り組むつもりである。これについて何かありますか。
- 町民の方々へのアンケートという話があったが、かなり難しいと思う。ただ単にこちらの結果をまとめてお知らせして、意見を聞くアンケートだと、反対意見しか集まらないと思う。
- 今回はアンケートではなく、議事に対して思うところがあれば、意見を寄せてもらうように HP で促していく。
- 内容については HP で発信しているので、その都度意見があれば寄せてもらうというオープンな形で意見を吸い上げるということによいか。

	<p>○町長からの当初の諮問書の中にある5点目「その他、道の駅整備及び運営準備に関し、必要と認められる事項について」の部分の判断については、町民の意見がヒントになるかもしれない。</p> <p>●茨城県の道の駅は全国的にもものすごく遅れている。急速に道の駅が増えているという情勢は、平成23年度時点では見えていなかった。その時流をどう追いかけるかということに関しては、一応確認しておいたほうがいいのではないかと思う。跡地利用はこの「道の駅整備事業検証委員会」ではしないのか。</p> <p>○諮問事項にないため、跡地利用は、検討しない。</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事務局からは特にない。</li></ul> <p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	--